



源智の井戸

～調査結果と政策提言～

横山ひかる 上田風太郎
篠崎結衣 高森琴音 晴山拓朗

はじめに

2009

8月7日(土)5時半～17時半の間の利用者数

源智の井戸とは



- ・江戸時代から存在する井戸
- ・松本市特別史跡に指定
- ・環境省の**平成の名水百選**に選出

歴史的に価値がある文化財

はじめに

今、源智の井戸に求められていることは何か

はじめに

憩いの場

or

水汲み場

私たちは

「源智の井戸は、今後の方向性を決める岐路に立っている。」

と考えています

調査結果

現状を明らかにするための聞き取り調査

合計

266人以上

(8月7日5時30分～17時30分、8月8日～10日9時～17時 の4日間)

聞き取り調査にご協力くださった皆様ありがとうございました。

調査からわかったこと

- ①管理組織の弱体化
- ②水質の悪化が懸念される
- ③文化財＜水汲み場

①管理組織の弱体化

源智の井戸の関係人物

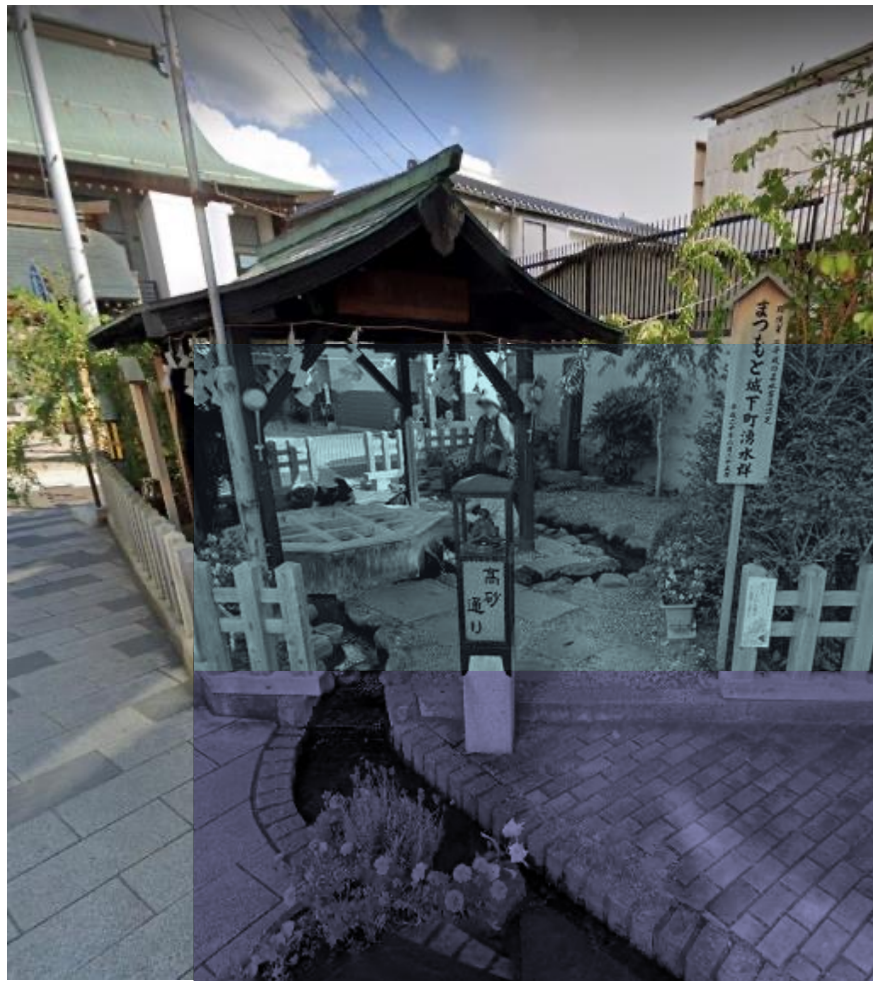


利用者

井戸を守る会

松商学園
と
高砂商店街

①管理組織の弱体化：管理の状況



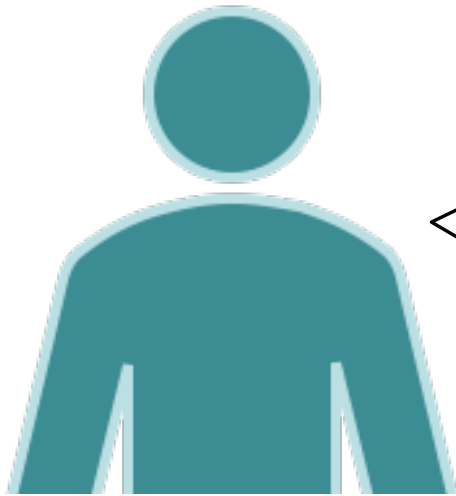
GoogleMapより引用

井戸と井戸周辺
井戸を守る会

水路周辺
松商学園と高砂商店街

①管理組織の弱体化：源智の井戸を守る会会長のお話

Q：掃除はいつ行っているのですか？



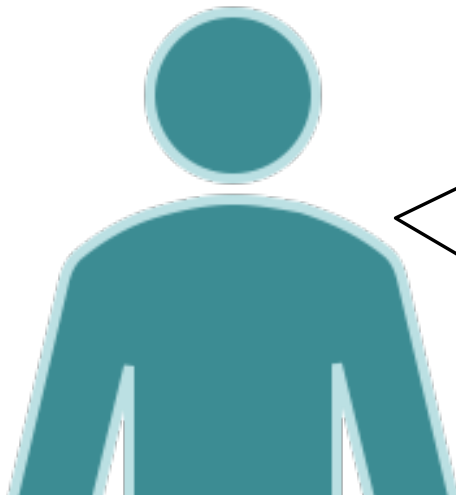
源智の井戸を守る会・会長
杉浦さん

月の第2第4火曜に行っている
特に井戸の中の藻をとるのが大
変

その分足腰は強くなった

①管理組織の弱体化：源智の井戸を守る会会長のお話

Q：5時半から掃除していると聞いたのですが



最初に使う人たちのことを考えて、掃除は朝の5時半から始めるの。
そしたら女性がみんなやめちゃった

杉浦会長

掃除頻度、井戸を守る会の人数が減少

※松本市教育委員会文化財課が作成したパンフレットの内容と異なる部分がある

②水質の悪化が懸念されている

源智の井戸を守る会の掃除の様子



- ・ 男性**5名**
(78歳～96歳)

- ・ 月に2回
- ・ 1時間半ほど掃除

②水質の悪化が懸念されている



どれほど丁寧に掃除しても、汚れが落ちにくい
水質の悪化につながる可能性が高い

③文化財＜水汲み場

Q：ベンチはおかないのですか？



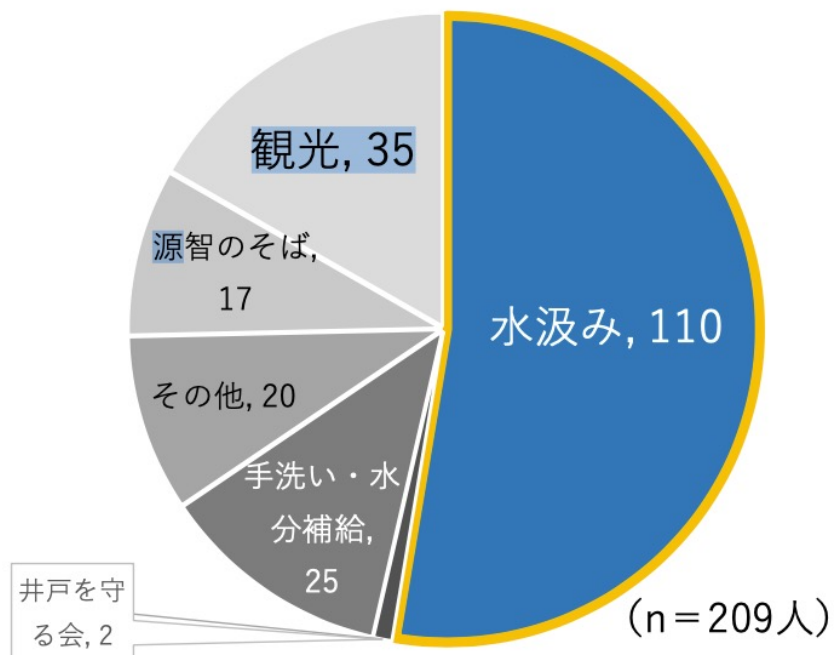
杉浦会長

ベンチを置いていた時期はあった。
井戸の中に空き缶が入っていたり、
タバコが捨ててあったりと治安が悪くな
ってしまった。
ここは水汲み場として利用してほしい。
ただでさえ管理が難しいのだから、
憩いの場は到底無理な話。

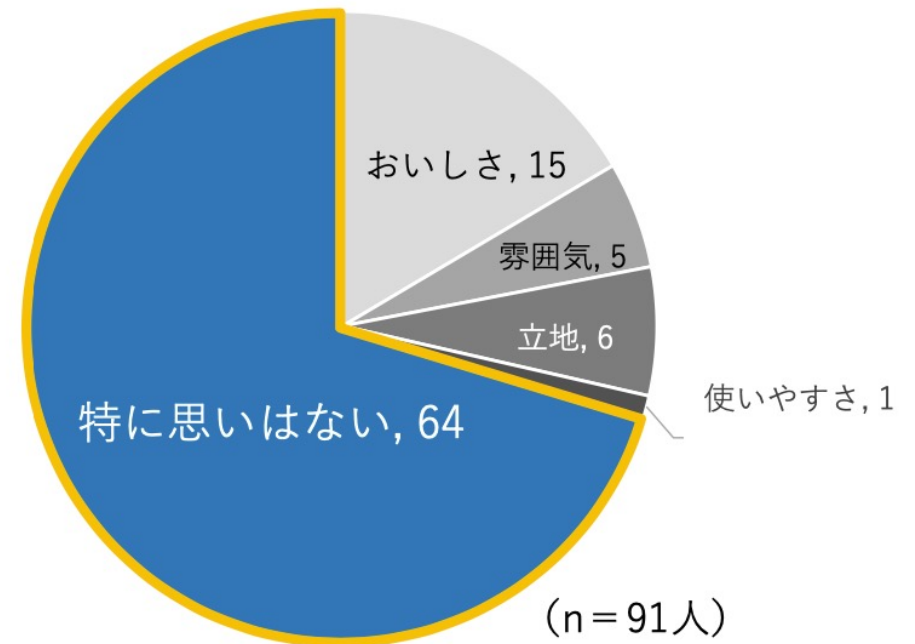
③文化財＜水汲み場：源智の井戸利用体系

8月7日5時30分～17時30分

源智の井戸に来た目的



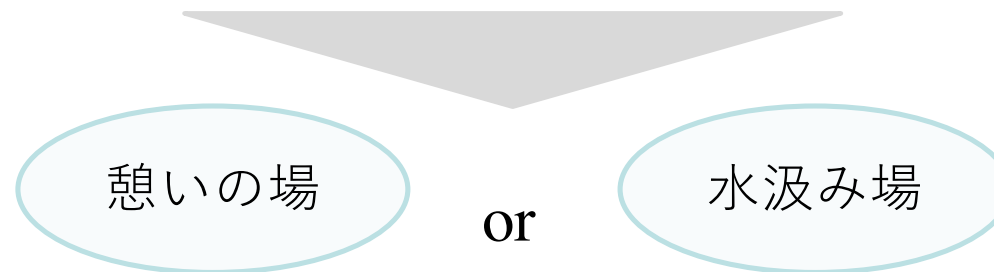
源智の井戸を選んだ理由



利用者は水が汲めればどこの井戸でも良いと考えている
利用者にとって源智の井戸は**文化財＜水汲み場**

調査から私たちの考えること

- ①管理組織の弱体化
- ②水質の悪化が懸念される
- ③文化財<水汲み場



掃除の担い手を増やし、水汲み場として維持して行くことが重要

調査から提案できること：フリーライダーに掃除を担ってもらう

調査から私たちの考えること

源智の井戸の関係人物



利用者



井戸を守る会



松商学園
と
高砂商店街

調査から私たちの考えること

理由は 3 つ！

理由①

井戸を守る会の方々の言葉

理由①井戸を守る会の方々の言葉

Q：他の人が掃除することに抵抗はありませんか？



杉浦会長

掃除してくれるのは構わないよ
実際に掃除してくれている人もいるしね
後継者は探していたけど見つからない
源智の井戸を残していきたいと思うが、
自分たちがいなくなったらおしまいだろう

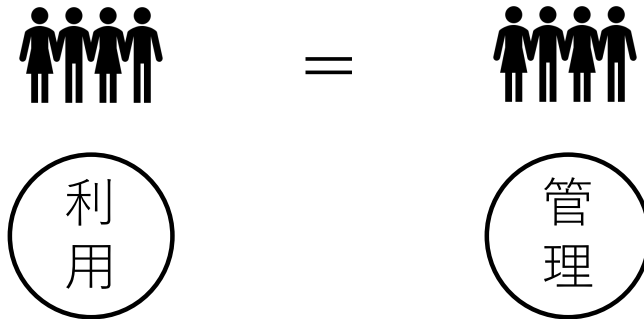
源智の井戸が今後も使われ続けることを望んでいる
フリーライダーが掃除することに抵抗がない

理由②

先行研究より

理由② 先行研究より：利用者による管理について

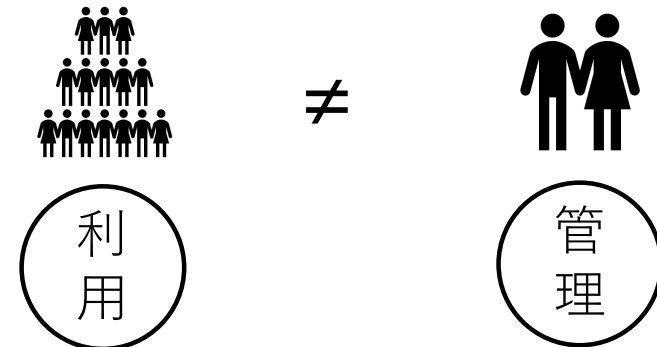
一般的な水汲み場



利用者が管理する
(利用権と管理の義務)

利用者がある限り存続
持続的

源智の井戸



管理するのは僅かな人（井戸を守る会）
その他大勢はフリーライダー

井戸を守る会がなくなれば存続の危機
持続的ではない

理由②先行研究より：先行研究から学べるヒント💡

何度も利用すると、管理をする人びとの存在に気づいていく。
この水が利用できているのは、管理者がいるから＝水の利用は管理者からの「贈与」であり、それに気づき「返礼」する。（返礼の論理）
(野田 2018)

返礼の論理



いつも綺麗な水だ
よね～



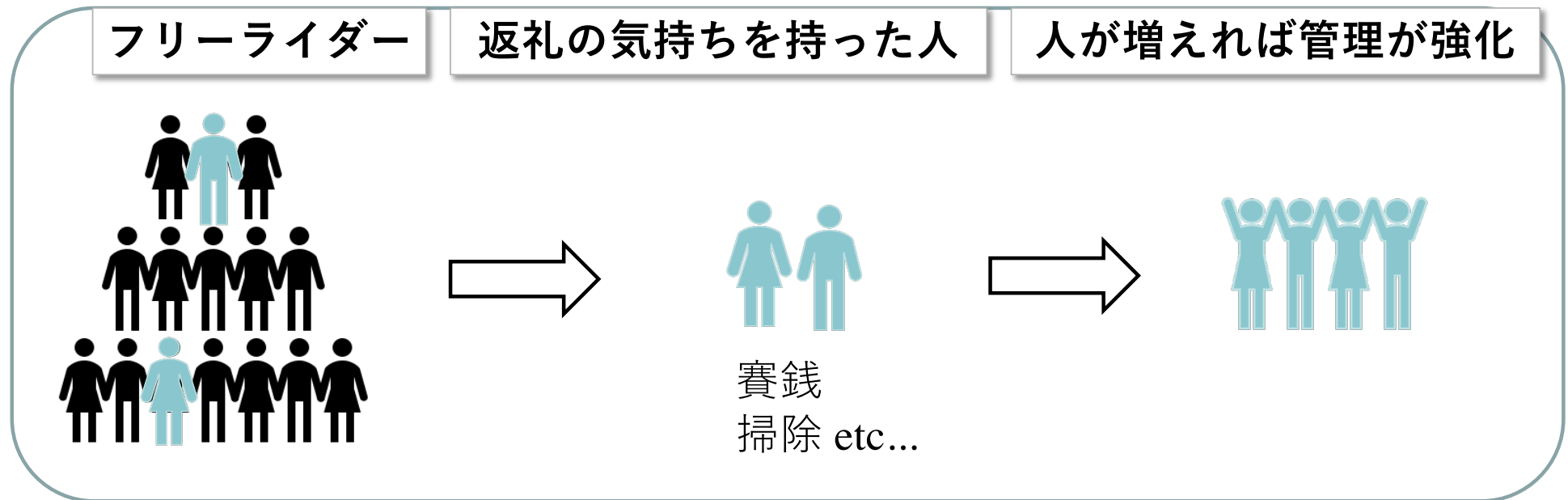
管理してくれてる人がいるから
だね



それじゃあ何かお返しをし
なきゃね！

理由② 先行研究より：利用者による管理について

期待すべきは “フリーライダーの中で返礼の気持ちがある人”



源智の井戸は地元住民以外の利用も盛ん

わずかでもそういった気持ちのある人がいれば源智の井戸の管理は
前向きなものになる

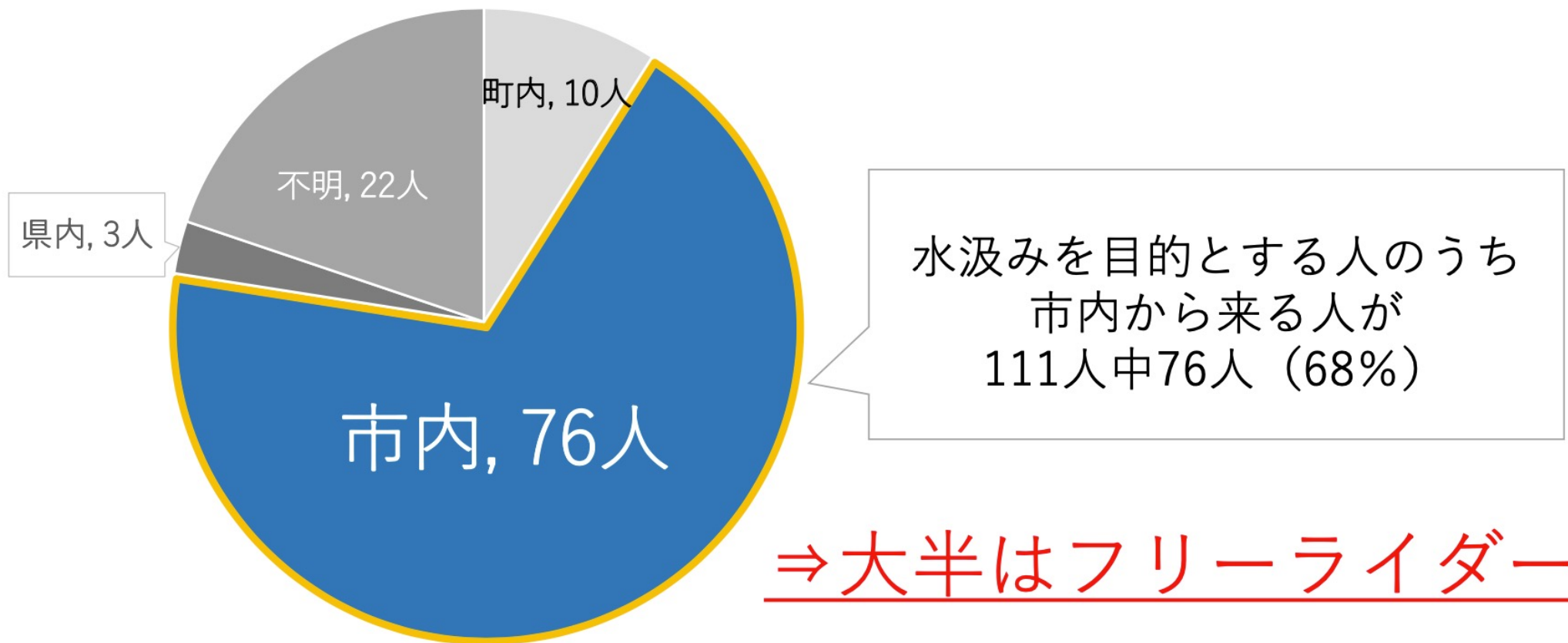
理由③

調査結果のデータより

理由③調査データより：水汲みの属性内訳

8月7日5時30分～17時30分

水汲みの属性内訳 (n = 111人)



理由③調査データより：水汲みの属性内訳

水を汲みに来たフリーライダーではない人もいる！！



置いてあるデッキブラシで掃除する様子

水をいただいた代わりに
掃除する



自前のタオルで井戸を拭く様子

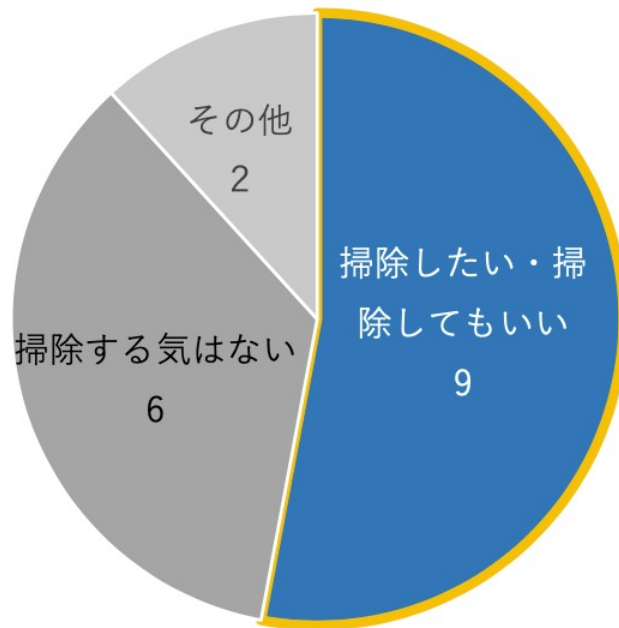
”お返しのお気持ちを実践”

⇒この女性のような存在を増やしていくべき

実現可能性どのくらいあるのか？

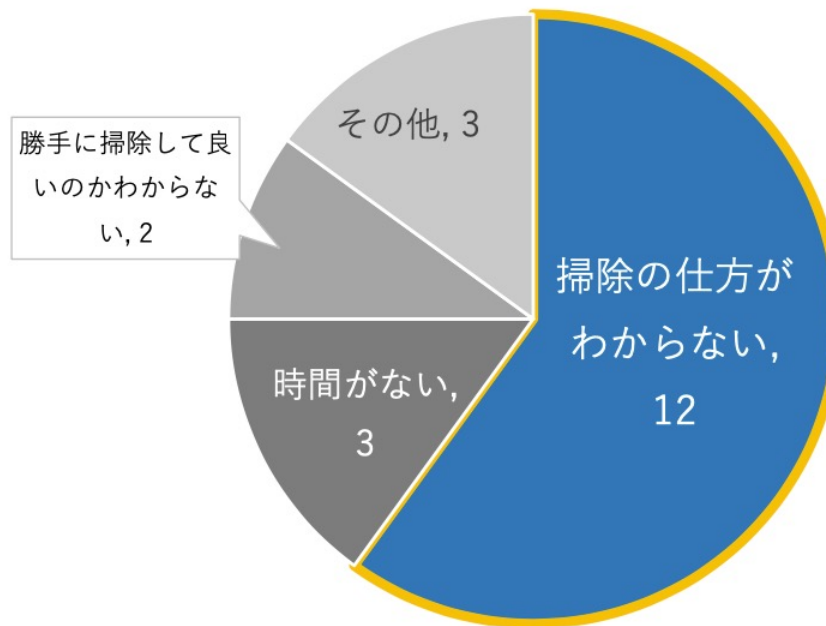
実現可能性どれくらいあるのか

掃除をする気があるか否か



(n = フリーライダー17人)

なぜ掃除しないか



(n = フリーライダー17人 複数回答可)

具体的な掃除の方法を示せば
利用者のうち**半数以上が掃除の担い手**となる可能性あり

私たちが考えること

掃除の担い手を増やし、水汲み場として維持して行くことが重要

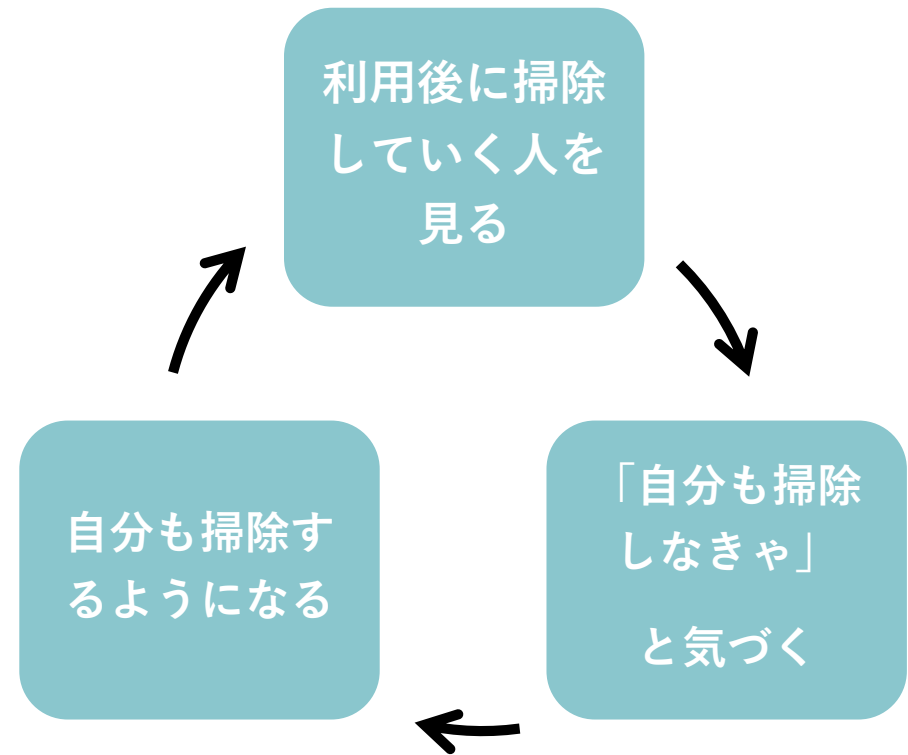


調査から提案できること：フリーライダーに掃除を担ってもらう



自発的・積極的・主体的に掃除する人を
増やすために
利用したら掃除するという規範を
徐々に根付かせる仕組みをつくる必要がある

私たちが考えること



利用したら掃除するという規範を徐々に根付かせる仕組みが必要

行政への提案

フリーライダーが掃除しやすい環境を整える

①木枠を外す



②石を取り除くまたは減らす



③適切な掃除用具の補充



私たちが伝えたいこと

私たちは、

「源智の井戸は、今後の方向性を決める岐路に立っている」

と考えています。

参考文献

- 野田岳仁 (2018) 「コモンズの排除性と開放性－秋田県六郷地区と富山県生地地区のアクアツーリズムへの対応から」 鳥越皓之・足立重和・金菱清編『生活環境主義のコミュニティ分析－環境社会学のアプローチ』25~43頁
- 松本市ホームページ <https://www.city.matsumoto.nagano.jp>
- Google Map <https://goo.gl/maps/mKwn3u94RY2MB94a7>